

プロジェクト報告書

特定非営利活動法人

団体名 サポートハウス年輪

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

高齢者地域会食型食事サービス事業にともなう消耗備品購入

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

本市の高齢化率の現状は21.4%、高齢者世帯は3割を超えその1/2は高齢者のみ世帯である。当団体は20年高齢者を対象とした配食サービスを始め介護事業、地域へ発信するバスハイクや歌声喫茶等々を展開する中で会食型食事サービスのニーズを感じている。会食型食事サービスは、安心して町へ出る機会をつくり、交流の場も提供できひいては地域のネットワークへ繋げることで孤立化への道を防ぐ。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

市内地域包括支援センターと連携し各圏域で会食サービスを実施し、交流の場、相談の場、情報提供などを行う。当初は、交流の場を共催で考えていたが拠点の課題があり、地域包括支援センターの主催する場に当法人として食事をお届けするという連携で展開してきた。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

当初の予定は地域包括支援センターとの連携として、会食だけでなく当団体も共催で実施していく予定であったが、某センターの方で先行して開催し始めた「サロン」形式の2か所の交流の場に食事を頼まれる形となった。1か所は民家で4月から毎月平均20食、もう一か所は2014年1月から隔月で公共施設を利用し、いづれにしても当初から「サロン」時に回収型弁当箱が必要となるため交付決定を受けた時点で購入することとなった。

今後は、当団体のある圏域の地域包括支援センターとの共催を考えたいが、一方でこの3月5日に当団体20周年を記念しデイホームの一角を“絆”カフェという利用者主体の一日カフェを地域に提供した。これが大変喜ばれたこともあり、“絆”カフェを、今後もデイホームを拠点として地域の方々に開いた形で2014年度に繋げていく。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

某地域包括支援センターの「サロン」は2か所の地域で月2回交互に開催しそのどちらにもお弁当の協力をしている。「サロン」では食事を挟んでゲームやお話が進み大変活気がある。

一同に会するとみなさん顔を合わせることで大きな安心感を得ているようで、地域に何か所もこうした場があることが望ましい。今回は決定を受けた助成金で会食会用の回収型弁当箱を購入させていただき、会食会への昼弁当のお届けでの連携という形だけになったが、当法人でも3月5日、デイホームに限定一日で開いた「絆」カフェを原点にした新たなコミュニティカフェの試みを2014年度から実現していく計画である。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

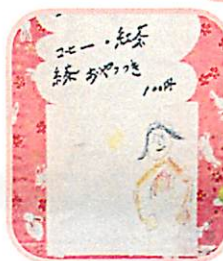
参考資料あり・特になし

本日開店！ カフェ「絆」



サポートハウス年輪20周年記念事業第一弾

3月5日、年輪の20周年記念事業第一弾として、カフェ「絆」をオープンしました！笑顔でお客様を迎えるカフェのママさんは、年輪の利用者さん。お客様にも広がった笑顔。カフェは明るくあたたかい雰囲気です。いっばいになりました。



手製のメニュー



カフェ「絆」は、大変好評をいただきましたので、
5月より毎月第1水曜日にオープンいたします。開店は午後1時半～3時半です。
ご来店をお待ちしております。

サポートハウス年輪 第16回総会のお知らせ

日時：2014年6月1日(日)13時～14時

場所：コール田無 イベントルーム AB

正会員の方は、スケジュールを調整していただき、ぜひご出席願います。

◆詳細は追ってお知らせいたします。

芝久保地区「サロン」での会食



回収型容器を使ったお弁当



2014年3月5日一日限りのデイホーム一角での利用者がママさんとなったカフェ一般にも開放した。成功したので2014年度は定期的で開催する。

